

山口県がリサイクル認定 大成ロテックのフライ アッシュ再生路盤材

大成ロテックの開発した再生路盤材「RCB 0-40」が山口県からリサイクル認定を受け、20日に認定証を受け取った。写真。

「RCB 0-40」はアスファルト舗装道路の下層路盤から上層路盤まで幅広く利用できる路盤材。セメントと石炭火力発電所から排出されたフライアッシュを混合した素材に、鹿野興産（山口県周南市、田村謙治代表取締役）の「リサイクル

ルビーズ」（山口県リサイクル認定品）を加えて製造する。

開発した路盤材は土壌汚染対策法に規定される基準値と、路盤材としての規格値の両方を満たしており、環境保全への効果だけでなく道路の耐久性向上も期待できる。

